

2024年度OITDAセミナー

# 「IOWN構想など将来の光技術」

一般財団法人光産業技術振興協会では、2024年度「OITDAセミナー」を10月にパシフィコ横浜で開催されるインターオプトにおいて、下記要領で実施します。

2024年

日時 **10/29 (火) 13:00~16:20**

会場 **パシフィコ横浜** 2階Annexホール  
F204

## <プログラム>

- |             |                               |                                |
|-------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 13:00~13:05 | 主催者挨拶                         | (敬称略)<br>一般財団法人光産業技術振興協会 小谷 泰久 |
| 13:05~13:50 | IOWN構想実現に向けたデバイス技術            | 日本電信電話株式会社 才田 隆志               |
| 13:50~14:35 | 車載ナイトビジョンシステムによる視界不良下での物体認識技術 | 京セラ株式会社 林 佑介                   |
| 14:50~15:35 | 手のひらサイズの長距離LiDARと点群処理ミドルウェア   | 株式会社東芝 タトアンタン                  |
| 15:35~16:20 | 可視光レーザーの空間照射応用                | 大阪大学/株式会社パワーレーザー 山本 和久         |

聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員、大学・公的機関、報道関係者：無料  
一般参加者：¥10,000（消費税込）

参加申込：右記申込フォームよりお申込みください。 <https://forms.office.com/r/jJPy5f7qFg>

※定員になり次第締め切りとなります。

2024年度OITDAセミナー

# 「IOWN構想など将来の光技術」

2024年10月29日 (火) 13:00～16:20 パシフィコ横浜 2階Annexホール F204

プログラム		
13:00～13:05	『主催者挨拶』 一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久	
13:05～13:50	『IOWN構想実現に向けたデバイス技術』 日本電信電話株式会社 NTTデバイスイノベーションセンター センタ長 才田 隆志  IOWN構想とは、光を中心とした革新的技術を活用して、新しい時代のネットワーク・情報処理基盤を創出しようという構想である。IOWN構想の実現に向けては、大容量の情報を低電力で取り扱うことができるデバイスがキー技術のひとつである。本講演では、IOWNに向けたデバイス技術について、現在までの到達点と今後の展望について紹介する。	
13:50～14:35	『車載ナイトビジョンシステムによる視界不良下での物体認識技術』 京セラ株式会社 研究開発本部 先進技術研究所 第2基盤技術ラボ コンピュータビジョン研究課 課責任者 林 佑介  車載前方監視用途のセンシングにおいて、視界不良下での障害物検知を行うため、赤外線センサを利用したナイトビジョンシステムが開発されている。京セラにおいては、赤外線センサ画像に通常カメラ画像のマルチモーダル情報を入力とした物体認識AI技術を開発している。本講演では、ナイトビジョンシステムにおける物体認識技術に焦点を当て、現状の課題、研究動向、京セラの取り組みの紹介を行う。	
14:50～15:35	『手のひらサイズの長距離LiDARと点群処理ミドルウェア』 株式会社東芝 研究開発センター 情報通信プラットフォーム研究所 IoTエッジラボラトリー 主任研究員 タトアンタン  LiDARは赤外レーザー光を用いて距離を測る3Dセンサであり、自動運転システムの“3次元の眼”として期待されている。東芝では206ccという世界最小のLiDARを試作し、水平:1200×垂直:84画素の高解像な3次元データの取得に成功した。本講演では、広範囲かつ高解像な3次元情報を取得可能にするハードウェア技術、並びに、認識AIやLiDARのユーザビリティを格段に向上させることのできるミドルウェア技術について紹介する。また、ロボティクスやセキュリティなどへの展開についても述べる。	
15:35～16:20	『可視光レーザーの空間照射応用』 大阪大学 レーザー科学研究所 特任教授 株式会社パワーレーザー 代表取締役 山本 和久  可視光レーザーの応用市場が拡大しているが、中でも最近大きな市場を形成したのはレーザープロジェクタなどのレーザーディスプレイ分野である。その波及効果として様々な可視光レーザー照射応用の提案、市場導入が始まっている。本講演ではヒューマンインターフェイスとなるIoT照明ステーション、空中ディスプレイ、またAIを利用したレーザー害虫駆除を含めた新たな応用について紹介する。	

聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員、大学・公的機関、報道関係者：無料  
一般参加者：¥10,000 (消費税込)

参加申込：下記申込フォームまたはQRコードよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/jjPy5f7qFg>

InterOpto<sup>®</sup>2024

